

花巻市石鳥谷地域協議会 平成 27 年度第 1 回会議 会議録

【日 時】 平成 27 年 8 月 18 日（火）午後 2 時 30 分～午後 5 時 35 分

【場 所】 石鳥谷総合支所 3 階 大会議室

【出席者】 出席委員：11 名

似内英悦、川村次男、菅原重子、継枝利尚、藤原信雄、熊谷秀夫、
八重樫康治、藤澤信悦、佐藤芳彰、晴山美紀子、鎌田愛子

欠席委員：4 名

岩館大輔、佐々木信行、高橋公男、佐々木さつき

市側出席者：2 名

秘書政策課：伊藤昌俊課長、寺林和弘企画調整係長

事務局出席者（石鳥谷総合支所）：10 名

藤原総合支所長、中村地域振興課長、晴山市民サービス課長

藤井地域支援監、佐々木地域振興課長補佐、藤井同課長補佐、

阿部同課長補佐、畠山地域づくり係長、伊藤主査

【説 明】

(1) 「(仮称) 花巻市人口ビジョン(素案)」について

(2) 「(仮称) 花巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)」について

秘書政策課から国の長期ビジョン及び総合戦略についての概要説明を受け、その後花巻市の人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略の素案について説明を受けた。

【協 議】

(1) 合併 10 年を振り返って

各委員より率直な意見や所感等を伺い、成果や課題について検証を行った。

【諮 問】

(1) 石鳥谷のまちづくりについて

ア 中心商店街の活性化について

イ 石鳥谷地域の中心市街地における土地利用計画

ウ 南部杜氏の里づくりの推進について

アからウの計画案について説明し、10 月下旬に開催予定の第 2 回地域協議会において再度協議を行うこととした。

【傍 聴】

会議を傍聴した者 なし

※会議での発言等は別紙顛末のとおり

※会議における配付資料は以下のとおり

資料：

- ・花巻市人口ビジョン（素案）花巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）【概要版】
- ・花巻市人口ビジョン（素案）
- ・花巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）
- ・合併10年を振り返って
- ・第1期イーハトーブ地域おこしプロジェクトチーム行動計画
- ・石鳥谷地域土地利用計画方針案
- ・道の駅石鳥谷「南部杜氏の里」について

顛 末

○ 進行／中村地域振興課長

1 開 会

2 挨拶

似内会長

ご苦勞様でございます。立秋という季節の区切りを過ぎたわけでございますが、猛暑日が続いておりまして立秋になったという気はほとんどしません。日本各地では雨の被害、土砂崩れ等が出ているわけですが、我が花巻にはそういう被害が出ずに秋を迎えればいいなと思っております。

今日は第1回目の会議ですが、説明、協議、諮問ということで今日は忌憚のないご意見を頂戴したいと思います。地域協議会の委員の中では、大瀬川地域活性化会議の会長さん、八日市地区コミュニティ会議の会長さん、八幡まちづくり委員会の会長さん、新堀地区コミュニティ会議の会長さん、それぞれ今年度からの委嘱ということで初めて顔を合わせる方もいるかと思えますし、それぞれ地域コミュニティ会議の代表の方ですので忌憚のない地域の実情をお話いただければ幸いですと思っております。

我が花巻にとっては合併10年という区切りの年になっております。今までの10年を振り返りながら今後10年をどうするかご意見を出していただきたいと思っております。旧三町地域の人口減少についての声や施策というものがよく見えてこないというような話もあります。そのようなことについて地域協議会でご意見を出していただきたいと思っております。

開会に当たりましてのご挨拶とさせていただきます。

3 説 明

中村課長資料の確認後、次第3の説明から似内会長進行

似内会長

それでは次第3、(1)「(仮称)花巻市人口ビジョン(素案)」について担当からご説明をお願いいたします。

伊藤秘書政策課長

(資料「花巻市人口ビジョン(素案)花巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略【素案】一概要版】により説明)

寺林企画調整係長

(資料「花巻市人口ビジョン(素案)」により説明)

似内会長

ご質問ございますか。

藤澤委員

三点ほどあります、一つはまち・ひと・しごと創生総合戦略の中で東京一極集中の是正とありますが、具体的にどのように是正するのか教えていただきたい。二つ目は国全体で人口減という一番の悩みの種ですが、そのきっかけとなったのが増田氏が書いた地方消滅という本ではないかと言われております。しかしこの地方消滅という本が欺瞞であるというふうな本も出ている。この地方消滅という考え方と反地方消滅という考え方について、お分かりであれば説明していただきたい。

日本は人口が1億を割る可能性があります、同じような人口規模でも精神的に豊かに暮らしている国がヨーロッパなどでも沢山あるわけですが、そういう国の思想や生活の仕方を説明いただきたい。もう少しグローバルにもっと豊かに考えていきたいと思うので勉強させていただければと思う。

伊藤課長

まず東京一極集中の是正ということで、基本目標の中に「地方への新しいひとの流れをつくる」とあります。今現状では東京圏に年間10万を超える人が集まっている。これを地方から東京圏へ転入する人を6万人減少させたい。もう一つが東京圏から地方へ転出する人を4万人増やしたい。このために国が掲げている主な施策として全国移住促進センターの開設、というのがございます。東京にございます。関東圏に住んでいる若い方々へのアンケート結果によると4割ぐらいの方が田舎暮らしに憧れるということで、その方々の背中を押してあげる、体系的にそういう動きを伝えるという部分で移住促進センターを開設して地方の花巻の情報を提供し、岩手県の方が常駐しているので相談してマッチングをしてくれる。そういうことを国で行う。

もう一つは最近では日本版CCRCというのがあります。地方の方が東京に出て仕事を終え、また地方に帰りたいと思っている場合、地方の介護施設や病院施設がその方を受け入れるということですが、国は人口減により施設に余剰が出てくるという見込みのようですが、人口ビジョンで話したとおり、花巻市はまだ高齢者の人口の割合が増えますので、今すぐそういう方を受け入れるという余裕はありませんが、今後そのようになるだろうと考えております。

花巻市は空家バンク制度、また今年から子連れの方が花巻市に移住してきた場合、新築や中古住宅購入の際の補助金を交付するというをしている。今後そういうことを積み重ねながら移住定住で花巻に来る人を増やす。それともう一つは、花巻で仕事ができる環境を作ってあげて、花巻から出る人を少なくするということが必要だと思っています。

もう一つは、石鳥谷という地域はJR東北本線も通っていて交通の便がいい、また、盛岡や紫波に比べて土地の値段もあまり高くないので宅地を造成してはどうかということをして市長が話しておりまして、そういうことを具現化し住む所を作り定住を図っていきたいというのが国と花巻市の動きでございます。

二つ目の増田氏の地方消滅に対する考え方について反対する方もいまして、小田切先生の著書では、地方は消えないという本を出しております。そういう方々が言うには地域がしっかりコミュニケーションがとれなければ、地域が崩壊しコミュニティがだめになる。コミュニティが崩壊するとその地域はだめになるので助け合いの精神は必要だと思いますし、農村というのが我々の中ではキーワードだと思っており、農業というのは集落を維持する手段だと思っておりますので、農業がしっかりやっけていけるようなことも考えなければいけないのかなと思っております。地方消滅を少しでも遅らせる、または防ぐということでいろいろなことを皆さんから教えていただければ、こういう事業をすればいいんじゃないかというものがあれば戦略に乗せていくこともできるのではないかと考えております。

ヨーロッパでは1億人以下の人口でも豊かだという話でございますが、確かにヨーロッパ方面へ行くと花巻市の人口である10万人の都市は、大都市であるといわれている。ただコンパクトにまとまっている。花巻は広い地域である。そこで公共交通であったりいろいろなことを整えながらいくと思うが、具体的にヨーロッパと比べてどうしていくかという発案はないので、何か良い案があれば教えていただきたい。勉強はさせていただきと思っています。

八重樫委員

合計特殊出生率が上昇するであろうという根拠は何か。

寺林係長

2030年の合計特殊出生率の1.80という数字は、最初に目標を1.80と設定してその目標に近づけるためにがんばろうという考え方です。1.80という数字は、アンケートをとると平均すると1.80人は子どもが欲しいというデータがあるので、国ではこの希望をかなえるという形で1.80人を目指そう、人口を維持するために最終的に2.07にしなければならないだろうというのが国の流れとなっていて、花巻市の合計特殊出生率はどうかというと、今アンケートをとっているところで、目標を掲げてそれに向けてがんばっていくという形で厳しい数字ではあるが今はそのように考えている。

八重樫委員

推計というよりも、将来発展計画でしょうから、最終的に例えば10年後に目標値を下回ったということがあっても良いかもしれないが、あまりずれないように、目標値を吟味していただきたいと思う。推計値と目標値を別に設定するなどしてはどうかと思う。

寺林係長

おっしゃるとおりで厳しい目標だと思いますし、合計特殊出生率の上昇は一自治体だけでは達成できないことで、県・国全体で一緒に取り組まないと上昇しないことだと思いますし、国でもっとお金をかけるべきじゃないかということが各自治体からも言われているので、こういう戦略を作りつつ国にも支援を要望していきたいと思う。

似内会長

次の「花巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略」についてご説明願います。

寺林係長

(資料「花巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)」及び概要版により説明)

皆様からアイデアや意見をお伺いして戦略に反映したいと思いますので、よろしくお願います。

似内会長

資料をご覧のとおり、内容は未定なので皆さんから肉付けやご意見を頂戴したいということです。今日全ての意見が出てくるというわけではないので、今日の説明を聞いてご意見を賜りたいということですね。

伊藤課長

この場で意見を出していただいても結構ですし、今日は資料を持ち帰っていただいで見ていただいて、ご意見ご提案があれば私ども或いは総合支所を通じて、後からでも結構ですのでアイデアがあれば教えていただきたいと思っています。

似内会長

確認したいことはございますか。

八重樫委員

概要版 6 ページに移住・定住の促進に関するいろいろな施策が記載されていますが、観光地のお店に新しい人が開業したりしているのが見られますが、花巻地域であれば、全国的にも有名なところがあると思うが、定住するためには住みやすい魅力ある住環境の整備がすごく大事だと思う。

市長は企業誘致が人口増につながるというような話をされているが、例えの話ですが北上で仕事をしていても住むところに魅力があれば花巻に住みますし、車であちこち行くことができる。住環境が整って魅力ある住まいがあれば、そこに人が住むだろうという気がする。

観光地として魅力ある部分を情報発信するとともに、魅力あるオリジナルな住環境整備をし花巻に人が呼び込めるように情報発信していただければと思う。

伊藤課長

検討していきたいと思います。住環境でいうと花巻ですと前の厚生病院の跡地を活用しながら街中で暮らしやすい環境を整えて、もう少し人が戻ってくるようにしなければならぬと取り組んでおりますし、石鳥谷についても交通の便を生かして土地利用も考えながら住環境の整備を図っていきたいと思う。

似内会長

この件については、よろしいですか。説明ということで、花巻市人口ビジョン、それから総合戦略の2点については、今回限りではございませんのでまた集まる機会を設けてもらおうということですので、この部分は今日は閉めさせていただきたいと思います。

(休憩)

4 協 議

似内会長

4番目の協議、「合併10年を振り返って」ということで、各委員さん方からもご意見や感想を頂戴したいと思います。それでは説明をお願いします。

中村課長

事前に資料を配布しておりますが、平成28年の1月に10年目を迎えるということで、議会でも検証をしないのかという質問等がございまして、他の自治体では有識者会議を設置したり住民アンケートを行ったりしているところもございまして、花巻市では、各地域協議会や自治推進委員会の委員の皆様からご意見を頂戴するということになりまして、今月中に各地域で肌で感じている感想等をお伺いしたい。資料は参考ですので、それに関わらずみなさんの考えていることとお話いただきたいと思います。

似内会長

川村副会長から順番に感想をお願いします。

川村副会長

10年が経過して、各地域にコミュニティ会議ができたのは身近な問題が解決できて良かったと思っております。問題点の1つは、支所の機能で予算がついていない関係でできないものがまだまだあると感じています。

菅原委員

住んでいるところが紫波境のこともあるのか、いろんな意味で取り残されているという感覚があります。コミュニティができたことは良いことだと思います。

私はいろんな組織に参加して花巻に行くことがありますが、いろいろな話を聞く中でいつも思うのは未だに花巻中心で物事が進んでいるような感じを受けております。

石鳥谷の商店街ですが、私が過ごした子供時代を最近よく思い出しますが、あのよう賑やかになって欲しいと感じます。これから、秋祭りがありますが、秋祭りでも商店街に賑やかさが足りないような気がしますので考えなくてはならないことだと思います。

継枝委員

10年前は盛岡で仕事をしていて、今は実家で農家をしています、石鳥谷は住みやすいところだと思っています。つい2年3年前までは、子供の任意の予防接種に費用がかかっていた。今は少しずつですが、子供をもつ世代に環境が良くなってきているなど感じています。

藤原委員

賢治ブームによって花巻をPRできて良かったと思う。地域の役員の引き受け手がない。区長と公民館長、民生委員もしている人がいる。

熊谷委員

合併して旧花巻市と旧三町の均衡がとれるかと思ったがそうでもない。変わらない感じがする。区長に健康推進委員などの推薦依頼がくるが、行政区長の下には組織がないので人選が大変。

八重樫委員

私もコミュニティ会議の制度については大変良かったと感じています。農業が衰退しているとか商店街についても同じですが、高齢化を伴っていろいろな問題がでています。ここ2・3年に非常に顕在化してきています。単身の高齢者世帯も増えてきていますし、そのことで問題も出てきています。少子化で伝統芸能もできない地域もある。直接、合併に伴う問題ではありませんが、社会問題としてあると思います。

私の地域では行政区長は輪番性で任期を全うすればそれで終わり。自治会長などは皆さんから推薦されてがんばるから組織が活性化する。盛岡には地区担当員がいて広報など配布をして自治会とは別。

藤澤委員

アンケートをみて、利益に繋がる政策を考えるのは当然だと思うのですが、その時に短期的に利益に繋がる政策と中長期的な政策を考える必要があると思います。花巻と石鳥谷の場合は、産業基盤は農業ですから、儲かる農業をもっと考えていくべきだと思います。

もう一つは中長期的には文教福祉に時間とお金をかけることが大事ではないかと思います。そうすることによって、自然に人口問題も解決してくるのではないかと思います。

社会福祉協議会の石鳥谷支所が寂しいので、包括支援センターを移動しないでほしい。保健センターもシルバー人材が入っているが空きスペースが目立つので、もっと活用する方法はないものかと思います。

生涯学習ですが、まなび学園の大学講座を受講しているが、旧三町からも参加している。しかし、開催場所は花巻だけ。旧三町でもすればもっと花巻市全体で盛り上がるのではないかと思います。

佐藤委員

地域のことは地域でやるという考え方を優先していかなければならないと思います。コミュニティ会議が設置されて、地域の課題・問題は今までは住民が個々に行政に要望していたものを、コミュニティ会議が集約して行政に要望・意見を申し入れるということで改善解決できたことがこの10年にありましたので、合併してコミュニティ会議ができたのは住民にとって非常に良かったのではないかと思います。

今後の課題としては、国が「まち・ひと・しごと」の考え方を出したわけですが、2045年には花巻市は無くなるという話があるので、少子高齢化になると今までと違って何を最優先にするかということをやって今後花巻市はどうやっていくか説いていかなければならないと思います。

晴山委員

駅前に60何年住んでいますが、今ほど人が少ないときはありません。赤ちゃんは生まれません。亡くなる方は独り身で空き家になる。自分の住んでいる地域には小学生が少ない。保育園に行っている子は1人で赤ちゃんはいません。

合併後の市長選の時に、宝峰の跡地について2人の候補者に伺って見たら、まずがんばってみますという話でしたが、花火大会の駐車場にしか使われていない。使い道は何かないものか。何とかしてしなければと思います。

女性団体のことを菅原委員さんが話していましたが、合併してからも石鳥谷の人たちはがんばっているのに認められない。

鎌田委員

私も合併してコミュニティ会議ができて良かったと思います。役員をさせていただいていますが、地域のことがよく分かってきました。

自分は八幡ですが、八幡だけでなく石鳥谷のまちに目を向けて、これからは10年後、5年後でもいいですが、石鳥谷を知ってもらうようなことをした方がいいと思います。合併して東和・大迫のことをすごく知りましたし、地域の人口が減少していくのが目に見えてきて、合併したために行政のサービスが行き届くのかどうか、そういうところが今後の課題ではないかと思います。

菅原委員

人口減少を考えるときに、私は男女協働参画の方にも参加しているのですが、石鳥谷生涯学習会館の出前講座の際、自分は結婚しないと言った若い女性がいました。理由を聞くと、親の背中を見ていて怖くて結婚なんかできない、ましてや子供を産む気にはなれないという意見を述べた人がいた。石鳥谷にもそういう考えを持っている人がいるということ踏まえながら、どうするべきか考えたほうがいいと思う。

似内会長

コミュニティ会議ができたのは良かったと思いますが、石鳥谷地域というものについて

もう少し考えなくてはならないと思います。コミュニティ会議が活発だからかもしれませんが、かつての石鳥谷地域が見えなくなった気がします。石鳥谷としてみんなで力を合わせてひとつの事業ができなくなったという感じがします。

コミュニティ会議を構成する行政区をなんとかしなければならぬのではと思います。自治会組織を活発化させた方が望ましいと思います。その中に、自主防災組織、環境衛生があるとか。自治会があってコミュニティ会議になり、各コミュニティ会議が集まり、石鳥谷になる。そして花巻市になる。小さい組織が大事。

5 諮 問

似内会長

5番目の諮問、石鳥谷のまちづくりについて説明願います。

中村課長

(資料「第1期イーハトーブ地域おこしプロジェクトチーム行動計画」に基づき説明)

似内会長

中心市街地の活性化についてご意見ご質問をお願いします。

八重樫委員

お祭りなど結構多いですが、ポイントで開催される。観光は歴史抜きには語れないと思うので、石鳥谷は酒のまちと言っている以上、数少ない酒蔵を中心にしたソフト事業などをやっていかないと、ポイントだけやってもやる人自身が困るのではないかという気がする。歴史がありプライドがないと、長続きしないのではないかと思う。ソフト事業をぜひ考えていただきたい。

まちなか百貨店ぷらっとでは産直等をやっているが、生産者と消費者の交流を図っていただければと思う。

藤澤委員

アイスアリーナを映画祭など夏に使う方法はないのだろうかと思う。道の駅いしどりやは歴史的にもかなり早く作られた方だが、小さくて物が少ないので、大きくしていただければと思う。

似内会長

次に石鳥谷地域の中心市街地における土地利用計画についてお願いします。

藤原支所長

(資料「石鳥谷地域土地利用計画方針案」に基づき説明)

似内会長

興味深い内容だったと思いますが、いかがだったでしょうか。お聞きしておきたいこと
ございますか。

藤原支所長

初めて皆様にお示ししたもので、また集まりを持たなければならないですが、持ち
帰ってご覧いただき、ご意見を寄せていただきたいと思います。

八重樫委員

盛岡から矢巾、古舘、紫波まで開発されて、いつ石鳥谷に来るのかという気持ちはあり
ましたが、やっぱりこの土地利用計画のようなやり方でやっていかないと人口も減少して
きているので、やる必要はあると思っております。

藤原支所長

旧製材所跡地を管理する不動産会社によると、本格的に売り出したいのは来年の春との
ことで、かなり対策は練っているようですが、ぜひ、皆様のご意見をいただきたい。1
ヶ月分のアパート代を支払うのであれば自分の土地を買って家を建てること
ができる。今は設計施工をかなり安くできるようなこともお話しておりました。

佐藤委員

町外の人を見込んでいるのか。資料「エリア⑤について（人口・世帯数増加見込み）」で
は237人増と見込んでいるが。

藤原支所長

町外からの増を見込んでいるが、市内移動もあるのかなと思う。

八重樫委員

黙っていればその人たちが転出してしまう人たちかもしれない。

藤原支所長

市外から転入してきた民生委員の方が、いろんな所を見て回ったがここが一番良いとい
う話をしていた。小学校が近く、スーパーがあり JR がある。北上や盛岡も車で行ける。
首都圏にいる子どもが帰ってくるようになったという話をされた。

川村副会長

この土地の行政区はみんな好地1区に入るのか。

藤原支所長

好地1区に入ります。

川村副会長

新しく244戸（か？）の計画だが、これが入ってきたときに1区と別の行政区にするのか。自分の行政区の上口地区で言うと、区画整理した地区に新しく転入した人は地区の行事にはほとんど参加しない。よそ者みたいな感覚はしていないが、声も掛けても結局他の地域で稼いでいる関係もあるためなかなか地域になじまない。そういうこともある。

晴山委員

現実的な問題ですよ。民生委員についても自分の受け持ち地区でも知らない人もいる。

似内会長

住宅供給公社が駅西ニュータウンを作ったとき、紫波よりグレードを下げた。紫波は電線地中化という形でグレードの高い土地分譲をしたが先に売れたのは紫波だった。石鳥谷の方はグレード低くすれば売れるだろうと思ったが、違ったということがあります。

熊谷委員

矢巾も石鳥谷の倍以上あったが、矢巾はすぐ売れた。

似内会長

これはまた意見を聞く機会を持つのですか。

藤原支所長

はい、持ちます。ぜひ忌憚のないご意見をいただきたいと思います。

似内会長

次に南部杜氏の里づくりの推進についてお願いします。

中村課長

（資料『道の駅石鳥谷「南部杜氏の里」について』に基づき説明）

似内会長

関連施設再編については、意見があると思います。持ち帰って各自意見を述べることにしたい。

藤原委員

現地を見学する機会があったほうがいい。散策路など知らない施設もある。

似内会長

現地を見ながら検討する機会を設けることとしたい。
諮問についてはここで閉めたいと思います。

6 その他

似内会長

その他何かありますか。

中村課長

事務局からはございません。

藤澤委員

石鳥谷の産業基盤は農業だと思うので、石鳥谷の農業の課題やどうしたら更に発展していくかなどについて勉強したいと思うので説明をお願いします。

中村課長

農林部の方と相談して検討したいと思いますので、よろしくをお願いします。

7 閉 会